

平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol.7 平成 26 年 11 月 12 日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会事務局
(基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252



【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

みなさま こんにちは 東播磨圏域コーディネーターの濱口です。11月に入りすっかり秋らしくなってきましたね。秋と言えば・・・芸術！？の秋。

私は最近、さだまささんの曲『主人公』にはまっています。仕事で落ち込んだり、支援の目的を失った時などに、この曲を聞くとなんだか活力をもらえます♪みなさんにとってのテーマ曲はありますか？

さて、私はしごと部会の前身である「就労支援連絡会」の時からメンバーとして“明石のしごと”について一緒に考え、学ばせていただきました。しごと部会のいい所は、学校卒業後の進路や支援機関の連携、情報交換など現場レベルでの課題について有志で立ち上がった連絡会の伝統と、リニューアルされた協議会の新たな試みが見事に融合され、官民協働で5つものワーキングが現在活発に動いているところです。このような活動は県内の協議会を探してもそうそうありません。また、参加してすごいと感じる所を3つ挙げるとするなら①テーマに沿った5つのワーキングが同時に行われ、とてもスピーディーであること②全てのワーキングの目的が明確で、ビジョンがしっかりあること③そして何より、志のあるメンバーの集まりで活気があることです。「しごと」を考えるときには、働くことに付随する視点がとても重要になると思います。その側面からアイデアを絞って先日実施された「はたらくなかまのつどい2014」は、まさに広い視野で仕事を支えるアプローチとして、とても素敵な場の提供でありワクワクしました（実施リポートが楽しみです）。



分かりやすいトークが抜群！濱口さん

最後になりましたが、地域にたくさんの“一休さん”が現れ、一人一人の「しごと」について真剣に向き合い、アイデアを出し合い、兵庫県の協議会に「明石方式あり！」と言われる日を目指して、楽しく無理のないワクワクした活動を期待しています。だって“誰もがみんな主人公”なんですから♪

濱口さんを知ろう！東播磨圏域コーディネーターとは？

県内9つの保健福祉圏域ごとに、一人の「圏域コーディネーター」が配置（県委託事業）され、相談支援に関わる下記の内容を中心に活動をしています。この事業は全国的にも珍しい配置となっています。

- 1 圏域内の市町間及び圏域間の相談支援体制等の連携・調整（市町自立支援協議会などへ参画）
- 2 市町相談支援体制の後方支援（相談員さん等からの相談や研修・連絡会の開催など）
- 3 兵庫県の相談支援体制等の構築・充実に資する業務
(県の自立支援協議会参画・相談支援従事者研修等企画運営など)

明石市地域自立支援協議会
にもたくさん関わってくだ
さっています！！